

第3回アジア太平洋地域滑り軸受標準化研修会 御案内

(社)日本機械学会 ISO/TC123 平軸受国内委員会

1. アジア太平洋地域の滑り軸受国際標準化研修会の背景

ISO/TC123 平軸受国内委員会では、滑り軸受の日本の技術的優位性を今後も確保し、規格上の戦略的指針を明確に保持するために ISO/TC123 の SC 6 の幹事国となり滑り軸受の ISO 規格作成の中心メンバーとして、規格原案作成活動を行ってきた。

しかし、現状の規格作成・改正において、欧米における滑り軸受産業の資本統合に伴い軸受開発国が減り、このため標準化参加国が減少し、ISO ルールによる審議開始条件（Pメンバー5カ国）が満たすのが苦しい現状である。

このような状況下において審議の活性化を実現するためには、アジアの近隣諸国を対象とした滑り軸受の標準化研修会を実施し、アジア・太平洋地域諸国との連携強化を図り、国際標準提案に関わる体制を早期にまた集中的に整備することが課題となっている。

そこで、当委員会は2005年2月、2005年10月につづき今回第3回目の研修会を開催する事になった。

2. 標準化研修会の目的

トレーニングコースの狙いは、平軸受の国際標準化の重要性を認識し、そしてアジア太平洋諸国が平軸受の ISO 標準化作業に参加して、ISO 標準化を協力して推進することです。我々は参加国が、トレーニングコースへの参加を通して標準化の重要性を理解し、彼らの標準化活動を強化することを深く望みます。我々が望むことは、すでに TC123 またはその SC の O-メンバーである国は P-メンバーになり、そしてまだメンバーでない国は少なくとも O-メンバーになる事です。

3. 招聘対象

当面の主たる対象国は、
中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム、韓国、インド、
以上 (8カ国)

4. 開催日時

'06年 9月 6日(水)～12日(火)

5. 開催場所

(財)海外技術者研修協会 横浜研修センター
横浜市金沢区福浦1丁目5-1
TEL : 045-786-1611
金沢シーサイドライン 産業振興センター駅 下車徒歩1分

6. 行事予定

日付	午前	午後	夕刻
9/6 (水)	オリエンテーション (9:30-11:00) 開講式 (11:00 - 12:00)	コース評価アンケート配布・説明 (13:00-13:30) 山田・三原 AOTS	ウェルカムパーティー (17:00-19:00) YKC泊
		カントリーレポート発表及び討論 タスクグループ分けとタスクの付与 (13:30-16:30) 山本・笠原・林・洪・山田・花橋・三原	
9/7 (木)	講義 No. 1 (9:30-11:30)	講義 No. 2 (13:00-15:00)	9/6 のタスクについて のグループワーク YKC 泊
		講義 No. 3 (15:30-17:30)	
9/8 (金)	講義 No. 4 (9:30-12:00)	工場見学1：日産追浜工場及び横浜エンジン工場 (追浜, 子安, 13:00-18:00) 木賀・林・三和	9/6 のタスクについて のグループワークと 9/12 の成果発表の準備 YKC 泊
9/9 (土)	休日		YKC 泊
9/10 (日)	休日		YKC 泊
9/11 (月)	講義 No. 5 (9:30-11:30)	工場見学2：石川島播磨重工業 (磯子) (13:30-17:30) 笠原・林・三和	
9/12 (火)	AOTS 同窓会説明 (9:30-10:00)	グループワーク成果発表と全体討論 (13:00-14:30) 山本・笠原・林・洪・山田・花橋・三原	YKC 泊
	グループワーク成果発表と全体 討論 (10:00-12:00) 山本・笠原・林・洪・山田・花 橋・三原	コース評価アンケート回収。 帰国後 1 ヶ月以内にレポート提出要請 (14:45-15:45) 山田・三原 AOTS	
		修了式 (お別れ会を含む) (16:00-18:00)	

講義

- No. 1 高木真人：標準化政策 (Standardization policy)
- No. 2 染谷常雄：滑り軸受の標準化 (Standardization of plain bearings)
- No. 3 木賀新一：近年の乗用車用エンジン開発動向と軸受の役割 (Recent trends of passenger car engine development and the role of plain bearings)
- No. 4 林洋一郎：各種滑り軸受の応用例と標準化 (Applications of plain bearings and standardization)
(標準化協議会会員数社の協力を得て実施)
- No. 5 加藤幹夫：自動車と標準化 (Automobiles and standardization)